

平成24年山武市教育委員会第12回定例会会議録

1. 期 日 平成24年12月20日(木)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後1時29分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義
委員長職務代理者 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
委 員 嘉瀬 尚男
教育長 金田 重興
5. 欠席委員 なし
6. 議場に出席した職員の職及び氏名
教育部長 加瀬 芳美
教育総務課長 渡邊 聡
学校教育課長 宮川 欣也
学校教育課指導室長 鵜澤 政仁
生涯学習課長 篠崎 君子
スポーツ振興課長 川島 勝喜
公民館長 市原 修
学校給食センター所長 宮負 勲
文化会館長 江澤 正
図書館長 小野 稔
さんぶの森公園管理事務所長 齊藤 榮一

事務局
教育総務課総務企画係長 秋葉 一徳
教育総務課総務企画係 山口 雅之

開会 委員長が挨拶し午後1時29分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、小野崎委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第11回定例教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、11月16日から12月20日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

11月17日 福島県南相馬市へボランティアに行った。教育部から3名、市長部局から2名が参加。

19日 新規職員採用の面接を行った。若い人たちの気力不足を感じた。

成東駅であいさつ運動が行われた。新聞にも紹介された。一方で、朝の駅前で実施していて邪魔になるといったクレームもあった。

20日 こども議会について、市長からありきたりの子ども議会は反対である。もっと実のあるものという指導があった。新年度に仕切り直しになると思う。市長から議会で行うのではなく、市長が学校に出向いて全校生徒または、ある学年の生徒を対象に話をしたいと提案があった。今後、仕切り直しの際は、この方向で進めていきたい。成東高校で開かれた学校運営委員会が実施された。授業改善、教育課程、進学、中高の交流等について協議をした。高校でも義務教育に近いきめ細やかな対応をしている。

21日 社会福祉大会が行われ、最優秀の標語が「言葉より そっと差し出す 小さな手」であった。市長からセレモニーで終わる大会はいかなものかとの言葉があった。

22日 就学指導委員会で13件が協議された。東上総教育事務所管内の教育長会議があり、そこで訪問を終えてという総括の話があった。山武市は、全体として向上があったと思うが、一部課題も残っている。今年度は、人事に力を注いでいきたい。

23日 半月初等学校歓迎会。韓国から多くの子ども達が訪日した。今度は鳴浜小が韓国を訪問する年になる。今後の交流のあり方について、学校と交流会の双方に考えの違うところがある。これは日本だけではない韓国にもある。今後どうなるか明確ではない。基本は継続であるが無理のない継続という点は一致している。

24日 シニアバレーボールに出席した。平均年齢は58歳。最年長は75歳。男子よりも女性の方が元気であると感じた。

25日 市ロードレース大会。今までで一番多い参加となった。参加率は86パーセント。

26日 いじめ対応について苦情の電話があった。連日、いじめの報道がやまない。報道されているものには、対応が不適切と感ずるものが多い。他山の石として緊張感をもってあたりたい。

27日 12月議会定例会。29,30日に一般質問が行われた。道徳、いじめ、家庭教育、食育、防災教育、遺跡、左千夫の顕彰、職員の多忙化等々の質問があった。真行

寺遺跡については、県の指定の方向になっている2月上旬に現地視察がある予定。

12月1日 山武地方社会教育連絡協議会視察研修。茨城県阿見町中央公民館や予科練平和記念館を視察した。公民館では「届ける公民館事業」で地域に出向き事業を行っている。

5日 奨学資金貸付について、改正案を議会に出したが議会で修正動議があり議員の修正を受けて本会議で議決となった。

7日 市の校長会からの要望へ回答をおこなった。部内政策会議で家庭教育相談について、生涯学習係の今関副主幹から話があり、東金市から相談件数は何件かとの問いに山武市は年間40件だと答えたら、それは月間ではないかと言われた。東金市は年間700件あると示された。この差について話題になった。

日向小ランドセル問題。集団下校したが班からはずれた子がいたため班長が危ないと思いランドセルの背負い紐を引っ張ったところ壊れてしまった。保護者から学校の対応に苦情があり、弁償して欲しいと話があった。弁護士に指導いただき、当事者同士での解決が良いとのことであった。しかし、それだけの回答では、なかなか理解をしていただけない所があったが、最終的には、無事解決した。

10日 年度末の教職員人事について、教育長面接があり、管理職について意見・要望を伺った。

11日 松尾中学校で在校生2名と卒業生2名が乗ったバイクが乗用車と接触した。幸い軽傷であった。保護者を呼んで指導している。警察にもご迷惑をかけた。

校長会義で日向小の問題を紹介し、教育委員会の立場としては、学校だけの責任ではないとの認識で指導室長から教育委員会は「共に悩まさせていただきます」という言葉があり最も言葉であると感じた。そういった姿勢で教育委員会はいきたいと思う。

15日 東金特別支援学校でやまもも祭りが行われた。来場者が少ないと思った。まだまだ、多くの人たちの理解が必要であると感じた。

16日 少年柔道大会がさんぶの森武道館で行われた。第30回の記念大会であり、県内外から多くが参加していた。

17日 第2回学校のあり方検討委員会が行われた。後ほど、詳細が話される。

昨日、文教厚生常任委員会で次年度予算について説明をした。特に、修正を求められることはなかった。

衆院選が終わり、教育改革に熱心な自民党政権が政権与党となった。教育委員会制度について、何らかの改革がなされると思う。基本は変わらず機能する教育委員会のため、これまで以上に教育委員の資質向上が求められる。郡の教育長協議会で教育委員への研修案があるが、具体的になったのでお知らせする。日時は、

2月27日(水)15時から東金市役所で開催される。

小野崎委員：半月初等学校の問題で、私は行かなくなると行けなくなる。継続をして頂きたい。やり方についても、鳴浜だけで困難であればもう少し対象を広げるようにしてはいかがか。

11日、松尾中のバイク事故があったと教育長報告で伺ったが、13日に松尾中でミニ集会があった。関係者が来ていたが、その時に一言もなかった。去年も出席したが、学校の説明だけで委員同士の意見交換までにいたらない。学校側に理解がある方が多く、良い点をもっとアピールした方が良いという意見があった。あいさつ運動も聞いていたので共同でやっていければと思う。

教育委員の立場からいじめ問題がある。些細な面を発見するメールを考えているので意見をいただきたいと投げかけた。

教育長：鳴浜交流の件は、いままでは交互に交流していた。負担が大きいので、もう少し延ばして4年に一度ではどうかという案が学校から出た。交流会としては、4年に一度は長すぎると言っている。以前、同行した時にとにかく継続が望ましい。原則は、交互訪問である。あくまで原則で、無理なときはこれにこだわらない。4年に一度ということはいままでなかった。委員会が積極的に関わることはないが、交流会や韓国の関係者とも良く話をしてほしい。

委員長：竹島の問題は関係しているのか。

教育長：ありません。

高橋委員：こども議会は開催しないという事でいいのか。

教育長：そのとおり。

高橋委員：さんむロードレース大会で参加率が86パーセントとなったことは良いと思う。

子どもの怪我人がいてクレームがあった。生涯学習振興大会で人がいないと感じた。昔PTAをやっていた時は動員をかけていた。動員も考えた方が良くはないか。

京相委員：日向小の件、私に直接ではないが家内が安全協会に入っており、ある人から話を聞いた。おそらく市議が関わったのではないかと思うが、どのような経緯か。

指導室長：集団下校の途中に列から離れる子がいた。危ないという事で班長がランドセルの背負い紐を掴んだ。本人がそれに逆らって出ようとした。これにより紐が壊れた。帰りに起こったことである。翌日、保護者がランドセルを持って担任に話をし、担任と教頭が関係する子どもに話を聞き確認した。学校では、ランドセルが壊れた親からの話を受け今日中にこの事実を確かめて連絡をすると伝えた。10時に改めて母親から電話があった。相手の保護者にまだ連絡がついていないので、後ほど連絡をとり、夕方には連絡する旨を母親に伝えた。父親から

12時位に電話があり、学校の対応が遅いとのことであった。ここまでのところの事実を父親が知人に話した。議員、元教育関係に携わった方に苦情を投げかけた。議員からは室長に、教育関係の方からは教育長へ話があった。朝知ったことを確認して事実関係を調べ、夕方に申し出のあった方に伝えようという流れで、私どもの時間の感覚からすると一両日中に解決できる早い対応であるが、被害者は1, 2時間での解決を期待していた。また、学校で弁償をして欲しいという要求があった。顧問弁護士は、集団下校での物品損壊は、校門から出た後は教員が付きそうことは出来ないの見届けることはできない。私的な関係になるので、保護者同士の話し合いで解決することが望ましいとのことであった。翌日の午前中に議員が学校に行き学校の立場を聞いた。その時点では保護者と議員からは、学校の対応のまずさが指摘された。その後、教頭及び担任が家に伺った際、家の子が逃げようとした為に起きた事で押さえた、善行をした人にお金を請求することは出来ない。こちらにも非があったと認めていただいた。解決に丸2日を要した。非常に内容の濃い対応であった。

委員長：協議第1号「準要保護の認定について」及び報告第2号「第2回山武市学校のあり方検討委員会の会議結果について」は、公開に適さない事項であり、協議第2号「平成25年度当初予算(案)の概要について」は議会の提出前であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。
(「異議なし」の声)

日程第4 ○議決事項

議案第1号 山武市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長：10月の定例教育委員会で来年度3歳児保育を開始するにあたって定員を20名とするという議決をいただいた。11月にこの管理規則に基づき募集をしたところ定員を上回る応募があった。このままであると抽選という形になるため、30人であれば受け入れることが出来るので1学級の人数を30人に改正させていただきたい。

京相委員：20人から30人になった場合の職員数についてはどのようになるのか。

学校教育課長：こども園については、短児部と長児部が一つのクラスになるので30名のクラスであっても2人がつくことになる。単純に言って15人ずつみる。総務課ともやりとりをしなければいけないが、幼稚園については1人正規職員以外につける方向で検討させていただければと思う。

※原案のとおり同意

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長：3世帯5名について説明。

※3世帯5名について認定。

協議第2号 平成25年度当初予算(案)の概要について

教育部長：教育部全般の当初予算の概要を説明。

各所属長より資料に基づき概要説明。

※原案のとおり了承。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 平成24年山武市議会第4回定例会について

教育部長：資料に基づき、11月29日・30日の一般質問(教育部に係る内容のみ)、12月5日・14日の文教厚生常任委員会について概要を説明。

教育長：越川議員から職員配置についての質問があった。昨日、新年度予算を議会に説明した中で能勢委員長から保健福祉部の職員が正規職員と臨時職員であまりにも正規職員が少ないではないか。全部で80数人いて、正規職員が20数人である。臨時職員の中には、調理業務の方もいるが、それをはぶいて子どもたちの保育にあたる職員で40人が臨時。半分しかいない。そういうことを考えると、市として苗半作を謳って幼児教育を重視しているが、果たして現実問題として達成できるか非常に不安がぬぐえない。新年度に幼稚園部門が保健福祉部に移り新しい組織体制になる。どういう風に教育委員会と連携をするか、指導室が関わっていくか課題になる。保健福祉部長が将来の民間委託や指定管理者制度の導入の可能性もあるという話があった。それがいつになるか分からない中で、市で謳っている幼児教育充実は、教育部だけでなく市長の考え、市としての方向性の判断を早く示さないと不味いと感じた。

委員長：いわゆる臨時職員が多くて身分が安定しないから、献身的な生き甲斐のある保育士が望めないという事があると思う。

休憩 15時31分から

15時40分まで

休憩前に引き続き報告第1号平成24年山武市議会第4回定例会について

教育部長：資料に基づき、12月5日・14日の文教厚生常任委員会について概要を説明。

報告第2号 第2回山武市学校のあり方検討委員会の会議結果について

教育総務課長：11月17日、第2回検討委員会を実施。協議事項は、千葉県内教委における公立小中学校の統合と再編に関する答申等の内容について、先進事例で各教育委員会から出された答申や検討中のものを一覧にした資料を基に共通事項等の説明をした。学校の規模や配置については、どこの自治体でも問題にしている。小規模校の課題等についても検討している。特殊な事項としては、小中一貫校についての検討やモデル事業としていこうとする自治体もあった。数值的、財政的な面で検討することになるが地方交付税で一年に学校の維持管理で使っている経費を相殺するとさほど財政的に影響しているものではないと説明した。会議録については、行政としては公表していった方が良いということで個人名は出さないが、HP等で公表していくという事了解を得た。学校教育における現状と課題では、少人数学級に関する質問があり、1クラス最大が40人であると回答している。1人の職員を全クラスに配置して20人クラスにすることではなく、1校に1名の職員を配置して出来る範囲で少人数学級編成をしていく。国語や算数でクラスを2つに分けてきめ細やかな学習の提供をしている。少人数における指導は、15～25人程度が一番効果的である。予算が無いので35人学級も実現できていない。そのため職員を学級に1人派遣できる範囲に小学校区学区の編成してほしい。小中一貫校についての質問があり、教育長から小中一貫校についてはメリット・デメリットがあるが選択肢の一つとして慎重に検討すべきであるとの意見が示された。これについては、もう少し踏み込んだ答申をしていただければとお願いした。その中で学校の規模、適正規模、学級数、生徒数がどれくらいかという質問に対して1学年で2学級以上が望ましい、いわゆるクラス編成ができる2学級以上が良い、可能なら3学級位が一番良いという回答をした。そうすると生徒数が70人前後で3学年200人前後ということで、先生はどれくらい配置したらいいのかという質問があり、17,8人が適当と回答した。学校の規模が小さくなると、特別教科は2校兼務ということになる。学校の老朽化について説明した。各学校が何年に建築され、何年に改修したかの一覧を示した。これについて一番手を加えなければいけないのはどこかという質問に成東中学校であると回答した。校舎の耐震については全て終わっている。松尾小学校のプールの水漏れについての質問があり、現在防水の工事をしている。検討委員会の中で新たにプールをつくってもらえるかという話も出ているが、統廃合の問題もあるのでいかなものかということも含めて話があった。今ま

で水がオーバーフローしないようなプールの使い方をしていただきたい、補修しながら使っていただきたいというお願いをしている。

報告第3号 平成24年度卒業式・卒園式の出席について

報告第4号 平成25年度入学式・入園式・合同着任式期日について

学校教育課長：資料に基づき説明。各学校から入園式等の案内をするため、出席委員を決めていただきたい。こども園については、子育て支援課でまだ時刻が確定していないため未定。開式時刻は1月以降に改めて報告する。併せて、入園・入学式については来月時刻が入った段階で出席委員を決めていただく。

⇒ 卒園・卒業式、入園・入学式、合同着任式期日を了承。出席委員を決定。

報告第5号 スポ・レク山武2012について

スポーツ振興課長：11月18日、大網白里アリーナにおいてスポ・レク2012が開催された。ディスクッターとユニカールという軽スポーツ。山武市からは和同会が主に参加した。ディスクッター、ユニカール共に好成績を収めた。開会式の中で郡のスポーツ推進委員の功労者表彰が行われた。また、永年勤続感謝状も授与された。

報告第6号 第7回さんむロードレース大会について

スポーツ振興課長：第7回については2,494人の応募があり、参加は前回は2,194名、今回は2,271名であった。77名の増加である。増加については、各学校で部活やクラブ単位での申込に協力していただいた。入賞者の一覧には山武市内から多くの入賞者があった。

委員長：ロードレース大会に小中学生の出場が少ないというのは、前日にロータリークラブの坂田の池でおこなわれるライオンズクラブの学校対抗の大会日が続いているからではないか。代表が話し合い一週間ずらす等の対応ができないか。そうすれば、参加者も増えるのではないか。

スポーツ振興課長：実際に両方の大会に出場するメンバーを比較してみたところ同じであった。日にちをずらせば参加者が倍になるかといえば、難しい。ただ、この問題は以前から指摘されているので体育協会理事会でも話をしている。ただ、どうしても前後の大会との調整がとれず開催されている。そのため動かせない中で対応している。以前、1カ月位遅く開催した事がある。だが、準備の段階で暗いということが生じた。そのため元に戻した。今、模索しているところである。子どもたちの体力増強も目的としているので、クラブ関係の生徒については、極力参加していただくように各校長にお願いしながら進めていきたい。また、一般の市民

の方の参加を得られるようにしたい。

委員長：小学校1,000人近い中で参加が40数人というのは少ないと感じた為、提案させていただいた。

報告第7号 第29回千葉県スポーツ推進委員研究大会について

スポーツ振興課長：12月9日、千葉県スポーツ推進委員研究大会が東金文化会館で54市町村が参加し約800人が集まった。山武郡市が19年に一度の当番であった。大会の中でスポーツ推進委員功労者表彰で49人が表彰され、永年勤続感謝状が49人に贈呈された。パネルディスカッションの研究課題として、「高齢化するスポーツ推進の役割～スポーツ基本法を受けて～」を掲げ、帝京大学教育学部初等教育学科の浪越一喜氏をコーディネーターにパネリストとして千葉大学の谷藤千香氏、大網白里町スポーツ推進委員副委員長の大塚義久氏、横芝光町の社会文化課生涯学習班の古川氏の4名で行われた。大網の推進委員からは高齢化するスポーツ推進委員の役割と題して、高齢者を如何に外に出すかという発表があった。横芝の越川氏からは、横芝光町の現状と課題ということで報告された。実際に報告を受けた中では高齢者を外に出すには、ウォーキングを実施しているとのことであった。実施回数は、3回であった。体育施設使用に関わるモラルの低下としてタバコの問題があげられた。学校夜間開放における夜間電気料の利用負担について、今は無料でやっているがある程度負担を頂かなければいけないとの話が出た。コーディネーターからは、年3回の実施は少ないのではないかと質問にスポーツ推進委員からは他の事業もあり、毎日出ているわけではない一生懸命にやっているという意見が出た。モラルの問題については、あくまで利用している人たちがお互いに声を掛けあってタバコはいけないと指摘をしなければいつまでたっても直らないという意見も出た。最終的には、総合型のスポーツクラブに結びつけていなければいけない。自分たちでも負担して、立ちあげながら自分たちが率先してやっていくのが良い。その中にスポーツ推進委員が入り、スポーツクラブを進めていくといった結論に落ち着いた。その後東金市の東中学校が歓迎の演奏を行い、中村勝広氏の講演を実施し閉会。

報告第8号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成24年11月1日から11月30日までに承認した4件の後援について報告。

報告第9号 1月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の1月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の1月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の1月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の1月の行事予定について報告

図書館長：図書館の1月の行事予定について報告。

文化会館長：文化会館の1月の行事予定について報告。

公民館長：公民館の1月の行事予定について報告。

その他

教育長：明日、群馬県利根郡昭和村から教育委員会が視察に訪れる。山武市で太陽光発電設備を積極的に取り入れたという事で参考にしたい。併せて、公民館事業について伺いたいとのことである。

学校教育課長：しらはたこども園の開設に伴い、鳴浜・緑海幼稚園が無くなる。しらはた幼稚園でもいいのかご意見をいただきたい。

委員長：しらはたこども園というのは、仮称であると思う。公募するのか。

学校教育課長：いえ、あり方検討委員会でこども園名は、しらはたこども園との答申を受けている。しらはたこども園でいくと思う。なんごうこども園の場合、なんごう幼稚園が入っている。幼稚園と保育所はひとつになってこども園になっている。次回までに幼稚園名について検討をお願いしたい。

学校教育課指導室長：山武市教育委員会ジャーナルについて、資料に基づき報告。

嘉瀬委員：いじめの問題の2学期調査は済んでいるか。

学校教育課指導室長：2学期の分を12月に実施と書いたが、先週実施している。依頼は出しているので集計が終わり次第、来月報告させていただく。いじめの問題については、出来るだけ早く情報がほしいということで、ホットライン的に第一報をくださいということで、いじめ報告様式の統一という手立てを講じた。すぐに出すように進めている。約一カ月になるが今のところ来ていない。

嘉瀬委員：メールの件についてはどうなっているか。

学校教育課指導室長：指導室内で校長会、教育委員会でいただいた意見について詰めているところである。実施にあたって一番大切なことは、学校が如何に主体的に取り組んでいただけるかここが主眼であると思う。少し時間をいただき、良い運営スタイルを見つけ出していきたいと思っている。次回の校長会議でより深めていきたい。開設は少しずつれ込んで2月位を予定している。

7. 閉会 午後4時52分